

# 名古屋市瑞穂図書館 おすすめ本

こんにちは。瑞穂図書館では、書店をご利用のみなさんにおすすめの本をご紹介します。

おひとりや、ご家族、お知り合いの方と一緒に楽しみください。

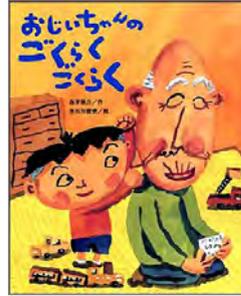
愛知県在住または通学・通勤の方は、名古屋市図書館の貸出券が作れます。ぜひ、お近くの名古屋市図書館もご利用ください！

## 食いしん坊のうさぎさん



『おばけのてんぷら』  
せなけいこ／作 ポプラ社  
食いしん坊のうさぎは、友達のお弁当の天ぷらを見て食べたくなり、天ぷらを揚げはじめます。それを目にして天ぷらをつまみ食いしようとしたおばけが、滑って天ぷら鍋に入ってしまう大変！

## おじいちゃんを忘れない



『おじいちゃんのごらくごらく』  
西本鶏介／作  
長谷川義史／絵 鈴木出版  
おじいちゃんは、一緒にお風呂に入ると「ごらく、ごらく」と言い、ぼくも気持ちよくなります。その大好きなおじいちゃんが悪い病気にかかり、仏様の国へ行ってしまいました。

## 小さな悪魔が貧しい木こりのために大活躍



『パンのかけらとちいさなあくま』  
内田莉沙子／再話  
堀内誠一／画 福音館書店  
木こりのパンを盗んだ小さな悪魔は、おわびのために森の奥の沼を麦畑にします。地主が畑を取り上げようとする時、知恵を使ってやっつけます。

## 家族みんなで静かに暮らす喜び



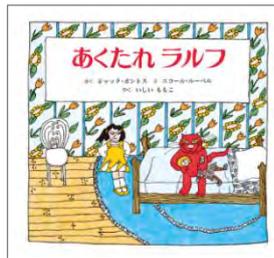
『ありがたいこつてす!』  
マーゴット・ツェマック／作  
わたなべしげお／訳 童話館出版  
大家族で小さな家に住む男が、苦しさをラビ(ユダヤ教の宗教者)に相談すると、家畜も家に入れるように言われます。苦しさが増してまた相談すると、家畜を追い出すように言われます。

## 機械にとっぴりつかった生活は楽しい?



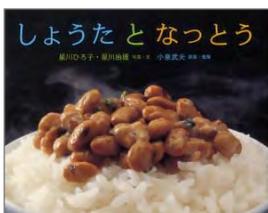
『ものぐさトミー』  
ペーン・デュボア／作  
松岡享子／訳 岩波書店  
電気じかけの家に暮らすトミー・ナマケンボは、食事も着替えも全部自動。ところが嵐で停電が起こるとトミーは大変なことになってしまいます。

## みんなを困らせてばかりいるネコのラルフ



『あくたれラルフ』  
ジャック・ガントス／作  
ニコール・ルーベル／絵  
いしいもこ／訳 童話館出版  
ネコのラルフは家族を困らせてばかり。ある日、とても腹を立てたお父さんに、外に置き去りにされ、サーカスで働かされます。悲しくなったラルフは逃げ出し、飼い主の家に戻ります。

## おじいちゃんの作る納豆、大好き!



『しょうたとなっとう』  
星川ひろこ・星川治雄／写真・文  
小泉武夫／監修 ポプラ社  
納豆の魅力がわかる写真絵本です。5才の男の子しょうたは納豆が大嫌いでしたが、おじいちゃんがゆでた大豆をワラに入れて作った納豆に感激します。

## 一人暮らしのゆかいなおじさん



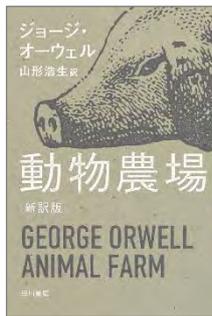
『おさらをあらわなかったおじさん』  
フィリス・クラジラフスキー／文 バーバラ・クーニー／絵 光吉夏弥／訳 岩波書店  
とてもお腹を空かせた一人暮らしのおじさんは、夕ご飯をたっぷり食べた後、お皿を洗いませんでした。こんな日が毎日続き、家中、汚れたお皿だらけに！でも、雨がおじさんを救ってくれました。

## 近いけれど知らない、台湾の若者と歴史



『流(りゅう)』  
東山彰良／著 講談社文庫  
1970～80年代の台北が舞台の熱気ある  
ミステリー。祖父を殺害された高校生の主  
人公・葉秋生(イエチョウシエン)は、犯人を  
突き止めようとしながら、友人との交流、軍  
隊体験を経てたくましく成長。祖父の死には  
戦時中の悲惨な事実が関わっていました。

## 気づけば、恐ろしい独裁に



『動物農場』  
ジョージ・オーウェル／著 早川 epi 文庫  
1945年出版の風刺文学。横暴な人間から  
動物が農場を奪い取り、全ての動物の平等  
を理想とする動物農場がスタートしますが、  
気づいた時には知力に勝るリーダーである  
ブタによる恐怖政治が実現してしまいます。

## 今一番面白い中国歴史エンターテインメント



『両京十五日』(全2巻)  
馬伯庸／著 齊藤正高・伯功／訳 早川書房  
北京から南京に派遣された皇太子・朱譚基(しゅ  
せんき)は、船を爆破され命からがら脱出。そこで  
皇帝である父危篤との知らせを受け、秘密裏に  
北京へと向かう。3人の仲間と、政変発生のリミ  
ットの15日以内に戻れるのか!?ドキドキの1冊。

## 動物のコミュニケーションからヒトの社会を考える



『動物たちは何をしゃべっているのか?』  
山極寿一・鈴木俊貴／著 集英社  
シジュウカラは「タカが来た!」と「ヘビが  
来た!」では鳴く声が違う。動物たちは何  
を考えて、どんなおしゃべりをしているの  
か。鳥類の研究者とゴリラの研究者が、  
動物研究の最先端を語り合います。

## 語源を知れば楽しみ倍増



『世界はラテン語でできている』  
ラテン語さん／著 SB 新書  
ラテン語なんて関係ない?そんなことはあり  
ません。「メルカリ」もラテン語が由来!?実は  
私たちの周りにある施設や製品の名前にも  
ラテン語由来のものがたくさん!そんなラテ  
ン語の歴史と魅力に触れてみませんか。

## 著者は愛知県。新鮮で面白い世界を体験



『めざせ!ムシヨラン三ツ星』  
黒柳桂子／著 朝日新聞出版  
著者は刑務所栄養士。毎月メニューを考え、  
週に1～2回は受刑者と一緒に炊事工場に  
立ち、調理指導します。受刑者の「ウマかつ  
たっス」という言葉が聞きたくて、制約の多  
い中で工夫し、おいしい給食を作ります!

## 写真集。花柄のワンピースが語るもの



『ひろしま』  
石内都／著 集英社  
手作りの愛らしいワンピースやブラウ  
ス。戦時下、それらを身に着けることは  
ささやかな喜びだったのでしょ。その  
日の朝の衣服は、熱線に焼かれ黒い雨  
にうたれた。被爆遺品の写真集です。

## 「あたりまえ」をひっくり返してみる



『ひっくり返す人類学』  
奥野克己／著 ちくまプリマー新書  
私たちの「あたりまえ」が「あたりまえ」  
じゃない世界がある。「あたりまえ」をひ  
っくり返して柔軟な心で見ると、新  
たな気づきに出会うかも。とりわけ、若  
いみなさんに読んで欲しい1冊です。

## 名古屋市瑞穂図書館 <https://www.library.city.nagoya.jp/>



〒467-0012 名古屋市瑞穂区豊岡通3丁目29番地 電話 052-853-0450  
【開館時間】 平日・土曜日 9時30分～19時 / 日曜日・祝日 9時30分～17時  
【休館日】 月曜日(祝日は開館し、翌日に休館) / 第3金曜日 / 年末年始など



「名古屋市図書館共通貸出券」の作成には、お名前・住所の確認でき  
る証明書(運転免許証・健康保険証など)が必用です。  
ご来館の際にお持ちください。

名古屋市図書館ホームページでは、本の検索もできます。

2025年1月作成